

## 開 会

委員長 ただいまから平成17年9月定例教育委員会会議を開催いたします。

## 会議録署名委員の指名

委員長 開催に当たり、本日の会議録署名人を根守委員にお願いをいたします。

## 議案の提出

委員長 日程に従い議事を進めてまいります。

本日の議題は議案1件、報告等 この資料には2件になっておりますが、1件追加になります。3件となっております。

## 議案第53号

委員長 初めに、議案第53号「松戸市立博物館協議会委員の委嘱について」を議題とします。

どうぞ、ご説明ください。

博物館次長 博物館次長の深井でございます。4月から博物館次長になりました。よろしくお願いたします。

それでは、議案第53号「松戸市立博物館協議会委員の委嘱について」、ご説明を申し上げます。

博物館法第20条第1項の規定に基づき、松戸市立博物館の適正な運営を図るため、松戸市立博物館条例により、松戸市立博物館協議会を設置してございます。

提案理由でございますが、現在の博物館協議会委員が今年の9月30日をもって任期満了となりますので、松戸市立博物館条例第8条第2項の規定により、別紙のとおり委嘱するものでございます。

別紙をごらんいただきたいと思います。新任の方のご説明を若干させていただきます。新任の方はお二人でございます。学校教育関係者として、校長会からご推薦をいただきました、松戸市立和名ヶ谷小学校の校長先生でいらっしゃる八木下覚様です。そして、中段ですが、社会教育関係者としては、財団法人の松戸青年会議所からご推薦をいただきました、松

戸青年会議所の理事長でいらっしゃる佐藤博之様です。

そのほかの方につきましては、ご留任いただくということでご承諾をいただいております。

なお、任期でございますが、平成17年10月1日から2年間、平成19年9月30日までとなっております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ただいまご説明のありましたように、博物館の協議会委員、10月1日から新たに委員さんを委嘱するという作業があります。この表の、ごらんのとおりでございますが、この委嘱は教育委員会が委嘱するのでしょうか。

博物館次長 はい、そうです。

委員長 はい。

何か、ご質問はございませんか。

先日、見学させていただいているいろいろ勉強になりました。この協議会は、年間にどのぐらい開催されますか。

博物館次長 現在は、年間2回でございます。まず、企画展に合わせまして、大体10月に1回目をやらせていただきます。それから、3月に予算の関係とか、そういうものをやらせていただく形になります。

委員長 企画、展示、いろいろなそういう問題については、この協議会で諮っていくわけですか。

博物館次長 そうですね。ご案内のとおり、当博物館は「どういう方向性を」ということで設立懇談会というものをつくりまして、博物館の方向性を決めております。その方向性に基づいて博物館を運営しているかどうか、それを協議会が検討していく、方向を間違っていないかどうかそれを示していくというのが、協議会でございます。館長の諮問機関でございます。

委員長 いかがですか。

關委員 確認ですが、今、いいことをおっしゃっていただきました。博物館の方向性という点についてですが、現在どんな方向性をお持ちになって、この博物館の運営に当たっているのですか。

博物館次長 松戸市の当博物館は考古、民俗、歴史、プラス自然というのが入っております。その方向で、まず都内の大きな博物館と違った、地元にある博物館、そのよさを生かして運営するというのが基本でございます。

ちょっと、館長補佐に内容を説明させていただきます。

博物館長補佐 博物館長補佐の古里でございます。

博物館は、今、次長がご説明しましたように、開館前に設立懇談会というところでご審議  
いただいて、基本的な性格、それから展示に関しては展示基本構想、そういったものをご審  
議いただいて決定しております。

基本的な運営に関しましては、まず1つは、人類史的な視点を持って活動をする。そ  
れから、地元の特色を生かした、これは考古、歴史、民俗が分野でございますので、松戸の  
特色といいますと、考古ですと、縄文時代の貝塚が非常に多い、そういったことがございま  
す。歴史に関しましては、江戸時代の牧の跡でありますとか、それから小金に虚無僧寺の一  
月寺、そういった特徴的なものを中心にして展示やさまざまな普及活動を行っていくと。

それからもう1つは、21世紀の森と広場の中にありますので、その自然環境を生かした活  
動を行うといったことが中心になっております。

最後の点に関しましては、野外展示として竪穴住居を3棟復元しております、そこを1  
棟ずつ公開して、特に、中で火をたいて当時の雰囲気をとということで活動しています。これ  
は、実は萱の屋根のメンテナンスということで火をたいていたんですが、開館しますと予想  
外だったんですが、たくさんの方が押し寄せられまして、物すごいときは1日2,000人ぐら  
いがごらんになったと。現在でも、年間3万から4万ごらんいただいている。そういう、予  
想外の人気者の1つのスポットになっているんですが、そういった森の環境を生かした活動、  
そういうことが中心になっております。

關委員 はい、ありがとうございました。

委員長 瀧田委員さん、何かありますか。

瀧田委員 いや、特に結構です。

委員長 いいですか。この議案に関して、質疑、討論、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 では、議案第53号を採決いたします。

議案第53号について、原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議がないものと認め、議案第53号は原案どおり決定いたしました。

報告等

委員長 次は、報告等です。

初めに、「平成17年度企画展ペルシャ文明の曙について」をお願いいたします。

博物館次長 今年度の企画展でございます。お手元に、チラシをお配りしてございます。が、ペルシャ文明の曙 文明の基層を探る ということで、展覧会を開催させていただきます。会期でございますが、10月1日の土曜日から11月27日日曜日まで50日間でございます。

今回の「ペルシャ文明の曙」展でございますが、ここでは、ペルシャ文明の基層となった新石器時代の様相をタペ・サンギ・チャハマーク遺跡に探り、その後のペルシャ帝国の展開とシルクロードを通じて我が国に及んだ影響を、さまざまな文物を通して紹介していく予定でございます。

それに基づきまして、チラシの後ろをごらんいただきますと、記念講演会を予定しております。11月13日には「イランの人と文化」と題しまして、上岡弘二先生による講演会でございます。11月20日の日曜日には「ゾロアスター教の興亡」と題しまして、青木健氏による講演会を予定しております。早速15日号の広報に載りましたので、これに対する市民の方からのお問い合わせとかいろいろ来ておる現状でございます。

それから、日本西アジア考古学会のご協力を得まして、考古学会とこちらの市立博物館の共催の講演セミナーといたしまして、11月23日は「イラン考古学への招待」と題しまして、当博物館の古里学芸員も含めまして4つの講演会を予定しております。具体的には、今回の展示担当学芸員の古里からご説明申し上げたいと思います。

博物館長補佐 それでは、ご説明させていただきます。

今回の展示に関しましては、このチラシの右側の方にございます、展示の構成と主な展示品というところがございますが、ここに従ってご説明をさせていただきます。

今回の目玉は2つございまして、1つは1番のペルシャ文明の基層というところでございます。これは、人類が農耕、牧畜の技術を初めて獲得したのが西アジアでございますが、その一角にイランがございまして、1970年代に、現在の筑波大学、東京教育大学がこの地で発掘をいたしまして、大量の資料を持ち帰っております。私もそのときの隊員でございまして、その資料が、ほぼ整理ができました。まあ何十年もかかったんですが、それを見ていただくというのが1つでございます。

もう1つは最後にあります、ペルシャと日本というコーナーですが、イランとかペルシャといいますが非常に遠い国という印象を持つ方が多いんですけども、実は奈良の正倉院の中に、ペルシャの物、それからペルシャに影響を受けた物、それがたくさんございます。そ

の中の1つに、ここの展示品にあります、ペルシャと日本の一番最初に切子ガラス碗というのがございますが、要するにカットグラスでございます。これは、実は当館が持っております、シルクロードコレクションの中にイラン、ペルシャのカットグラスがございます。それとほとんど同じ物が正倉院には納められております。もう1つは、安閑天皇陵といわれております古墳からも出土しております。少なくとも五、六世紀、7世紀のころに、既にペルシャの文物が日本に入っていたということでございます。

その辺が2つ目の目玉ということで、それをつなぐものとして、ペルシャ文化の展開というところではペルシャの歴史といえますか、紀元前6世紀ぐらいのアケメネス朝ペルシャからパルチア、ササンといった国々の様子を、簡単ではございますけれどもご紹介する。アケメネス朝ペルシャというのはご承知のように、ダリウス大王が第3代の王ですけれども、世界史上、一番最初にオリエント世界を統一した国をつくったという方で、輝かしい歴史があるわけです。そういったことも含めまして、展示を企画いたしました。

この企画を、イラン、イスラム共和国大使館の方へ話しましたところ、後援をいただきましたので、イラン大使館後援ということで、特に11月23日の「イラン考古学への招待」公開セミナーのときには、大使館の文化担当参事官でありますカゼミーさんという方が来られて、ごあいさついただけるということになっております。

以上でございます。

委員長 何か聞いておきたいこと、ございませんか。なかなか見られないあれですね。

瀧田委員 よろしいでしょうか。大変、考古学的に貴重な企画で楽しみにしております。この講演会の、それなりに市民からの反応はあるのではないかなと思いますけれども、シルクロードとか、ペルシャ文明には小学校6年生ぐらいになると興味があったり又は興味を喚起したりしなくてはいけないとそれも私どもの役割があるのではないかと思いますけれども、そういう、小学校6年生とか中学校とか、ちょっと興味がわき始めるかなという年齢のお子さんに対しての、特別に心を砕いた企画というのは、この期間にはないのでしょうか。

博物館長補佐 特に、こういった講演会なんかは確かに大人向けでございますけれども、一番最後のところに展示解説会というのが11月19日と26日でございますが、これ以外にも私、担当しておりますので、お客様が何人かいらっしゃれば、行って臨時に解説をしようと思っておりますので。そのときにお子様が多ければ、お子様用の解説をというふうに考えております。

瀧田委員 ぜひ、そのようにしていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

委員長 よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、次の「平成17年度全国、関東、千葉県中学校体育大会の結果について」を、ご報告願います。

保健体育課専門監 保健体育課でございます。

体育大会の結果について、ご報告させていただきます。

1ページ目をごらんいただけますでしょうか。

こちらの方が、松戸市内大会が7月9日から22日までの間に行われまして、団体戦で、黒塗りの部分が県大会の方に出場した学校でございます。

3ページ目をお開きいただけますでしょうか。

県大会の方には、13種目574名が松戸市の方から出場いたしております。県大会で上位入賞したチーム、これは少し斜め文字になっておりますが、この中で抜きん出ているものというのがバスケットボールの第四中学校の優勝でございます。これは話に聞きますと、20年ぶりぐらいにどうもなるのではないかというような話を伺っております。

それから、ソフトボールの女子でございますが、決勝戦が松戸市内の2チームで行われております。

この上位チームが、次の5ページになります、関東大会の方に出場いたしております。先ほど申し上げました、第四中学校がここでも準優勝しております。関東大会につきましては9種目141名が出場していますが、16年に比べて、やっぱり40名弱多く出場いたしております。

この関東大会で上位になりましたチーム、個人が、次の6ページの全国大会の方に出場いたしました。全国大会は8月17日から25日まで行われまして、5種目で28名が参加いたしております。ここでも、やっぱり第四中学校が非常に活躍しておりまして、ベスト16ではあったのですが、この全国大会で優勝したチームが、埼玉県の新座第四中というところだそうなんです。このチームに、実は関東大会の準決勝で勝っているということだそうです。ですから、バスケットボールそのものが、かなり全国レベルにあるのではないかというふうに思っています。

以上、報告とさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。例年と比べて、だんだん上向きですか。

保健体育課専門監 かなり上向いてきていると思います。

委員長 将来的に、インターハイであるとか、国体であるとか、オリンピックであるとかという方向へ参加する子の成績というのは、この中学が基礎なんだそうですね。

保健体育課専門監 そうでございます。

委員長 学生に言わせると、この辺りからそういう卵を見つけるのが楽しみなんだそうですね。そういう意味で、いろいろこういう記録が出ているというのは非常に大事なことだろうと思います。

よろしいですか。

もう1つ、報告に追加がございますが、よろしくお願いします。

指導課長 指導課です。

同じく、「平成17年度の音楽コンクール関係の結果について」、ご報告させていただきます。

お手元に資料が2枚いっているかと思いますが、1枚目の方が千葉県吹奏楽コンクールです。

予選の方には、小学校7校、中学校18校が出場いたしまして、県大会の方にA部門で中学校3校、B部門で中学校3校が選ばれて出場しております。県大会から、第四中学校と和名ヶ谷中学校が東関東の大会の方へ出場いたしまして、金賞を受賞しましたが、残念ながら全国大会の方へは進めませんでした。

それから、もう1枚目の方はNHKの全国音楽コンクールで、こちらの方も予選の方に小学校4校、中学校5校が出場いたしまして、松戸から小学校と中学校がダブルでの県代表という形になりそれが、牧野原小学校と六実中になります。関東甲信越ブロック大会では牧野原小が金賞を受賞しまして、全国大会へ出場することになりました。10月9日に東京渋谷のNHKホールで全国大会が開催されます。予定ではNHK教育テレビで同時に放送されるということで聞いております。

以上でございます。

委員長 何か、いいですか。

以上のように、報告3件も終わりました、ここで本日の会議日程を終了しますが、ほかに何か追加ございませんか。

その他

委員長 では、その他になりますかね。

企画管理室長補佐 企画管理室でございます。

平成17年10月定例会でございますが、10月13日、第2木曜日でございますが、午後2時から、こちら5階の会議室でいかがでしょうか。

委員長 いかがでしょう。先生方、よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 では、確認いたします。次回教育委員会会議は、10月13日木曜日午後2時から、この会議室にて開催をいたします。

#### 閉 会

委員長 以上をもちまして、平成17年9月定例教育委員会会議を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 2時25分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会委員長

松戸市教育委員会委員